

同じ個数で考える差集め算 演習プリント

- (1) アメとガムが同じ数ずつあり、子供たちにアメを1人9個、ガムを1人5個ずつ配ったところ、アメがちょうどなくなり、ガムが88個残っていました。子供たちの人数は何人ですか
- (2) 1個80円のおにぎりを何個か買うつもりで、ちょうどの金額を持って買いにいったところ、1個につき110円に値上がりしていたので、予定と同じ個数を買うには210円たりませんでした。持っていったお金は何円ですか
- (3) 1個340円のケーキを何個か買うのに、ちょうどのお金を持って買いにいくと、1個につき290円に値引きされていたので、予定通りの数を買うと、お金が500円残りました。持っていったお金は何円ですか
- (4) 1個290円のかぼちゃを何個か買うつもりで、ちょうどの金額を持って買いにいったところ、1個につき240円で売っていたので、予定と同じ個数を買ったら400円あまりました。持っていったお金は何円ですか
- (5) 1本140円のペンライトを何本か買うつもりで、ちょうどの金額を持って買いにいったところ、1本につき110円で売っていたので、予定と同じ本数を買ったら210円あまりました。持っていったお金は何円ですか
- (6) 1個80円の電池を何個か買うつもりで、ちょうどの金額を持って買いにいったところ、1個につき120円に値上がりしていたので、予定と同じ個数を買うには240円たりませんでした。電池を何個買うつもりでしたか
- (7) 兄が毎月400円、弟が毎月200円ずつの貯金を始めました。何ヶ月かたって、2人の貯金額の差が1600円になっていたとき、貯金を初めてから何ヶ月目ですか
- (8) 漢字と計算の問題が同じ数だけあるドリルを、漢字を1日に11題、計算を1日に7題ずつ解いたところ、漢字の問題がちょうど終わった日に計算はあと56題残っていました。漢字の問題が終わったのは何日目ですか
- (9) 1本100円の大根を何本か買うつもりで、ちょうどの金額を持って買いにいったところ、1本につき80円で売っていたので、予定と同じ本数を買ったら140円あまりました。持っていったお金は何円ですか
- (10) 同じページ数の社会と理科のドリルを、社会を1日に8ページ、理科を1日に5ページずつ解いていきます。解き始めて12日目には、2つのドリルを解いたページ数の差は何ページになっていますか



同じ個数で考える差集め算 解答

- (1) 1人に $9-5=4$ 個ずつの差ができるので、88個の差は、
 $88\div 4=22$ 人ぶんの差

A. 22人

- (2) 1個につき $110-80=30$ 円安くなっているので、210円の差は $210\div 30=7$ 本ぶん
持っていったお金は $110\times 7=770$ 円

A. 770円

- (3) 1個につき $340-290=50$ 円安くなっているので、500円の差は $500\div 50=10$ 個ぶん
持っていったお金は $340\times 10=3400$ 円

A. 3400円

- (4) 1個につき $290-240=50$ 円安くなっているので、400円の差は $400\div 50=8$ 個ぶん
持っていったお金は $290\times 8=2320$ 円

A. 2320円

- (5) 1本につき $140-110=30$ 円安くなっているので、210円の差は $210\div 30=7$ 本ぶん
持っていったお金は $140\times 7=980$ 円

A. 980円

- (6) 1個につき $120-80=40$ 円安くなっているので、240円の差は $240\div 40=6$ 個ぶん
よって、6個買うつもりだった

A. 6個

- (7) 1月に $400-200=200$ 円ずつの差ができるので、1600ページの差は、
 $1600\div 200=8$ ヶ月ぶんの差

A. 8ヶ月

- (8) 1日に $11-7=4$ 問ずつ、問題数の差ができるので、56問の差は、
 $56\div 4=14$ 日ぶんの差

A. 14日

- (9) 1本につき $100-80=20$ 円安くなっているので、140円の差は $140\div 20=7$ 本ぶん
持っていったお金は $100\times 7=700$ 円

A. 700円

- (10) 1日に $8-5=3$ ページずつの差ができるので、12日での差は、
 $3\times 12=36$ ページ

A. 36ページ



← 詳しい解説は作者ブログで
QRコードで移動できます

数のそろわない差集め算 演習プリント

- (1) 1個350円のパンを何個か買うつもりで、ちょうど金額を持って買いにいったところ、1個につき280円で売っていたので、予定より2個多く買えて、ちょうど代金も予定と同じでした。持っていったお金は何円ですか
- (2) 兄が毎月700円、弟が毎月300円ずつの貯金を始めましたが、とちゅうで3ヶ月、弟は貯金できないことがありました。貯金を始めて16ヶ月たったとき、2人の貯金額の差は何円になっていますか
- (3) 1個60円のアイスを何箱か買うつもりで、ちょうど金額を持って買いにいったところ、1個80円に値上げされていたので、予定より5個少なく買って、20円残りました。持っていったお金は何円ですか
- (4) 1箱1100円のクッキーを何箱か買うつもりで、ちょうど金額を持って買いにいったところ、1箱につき900円で売っていたので、予定より1箱多く買えて、700円あまりました。持っていったお金は何円ですか
- (5) 1箱500円のみかんを何箱か買うつもりで、ちょうど金額を持って買いにいったところ、1箱800円に値上げされていたので、予定より3箱少なく買って、300円残りました。持っていったお金は何円ですか
- (6) 1個110円のガムを何個か買うつもりで、ちょうど金額を持って買いにいったところ、1個につき90円で売っていたので、予定より4個多く買えて、80円あまりました。持っていったお金は何円ですか
- (7) 漢字と計算の問題が同じ数ずつあるドリルを、1日に漢字を7題、計算を1日に5題ずつ解くことにしましたが、とちゅうで4日、計算のドリルをやらない日がありました。漢字のドリルがちょうど終わった日に、計算が116題残っていたとすると、漢字のドリルが終わったのは何日目ですか
- (8) アイスを15個買うのにちょうどのお金を持って買い物に行ったところ、1個につき20円値引きされていたので、22個買えて20円あまりました。値引き前のアイスは1個何円ですか
- (9) 大きいかぼちゃと、それより20円安い小さいかぼちゃの2種類が売っています。持っているお金で大ならちょうど19個買えて、小だと23個買えて20円あまります。大のかぼちゃは1個何円ですか
- (10) 兄が毎月900円、弟が毎月700円ずつの貯金を始めましたが、とちゅうで3ヶ月、弟は貯金できないことがありました。2人の貯金額の差が6100円になっていたとき、貯金を始めて何ヶ月目ですか



数のそろわない差集め算 解答

- (1) 多く買った2個買わなければ、残りのお金は、 $280 \times 2 = 560$ 円になる
1個あたり70円の差だから、 $560 \div 70 = 8$ 個買う予定だったので、 $350 \times 8 = 2800$ 円

A. 2800円

- (2) 1ヶ月あたり400円の差だから、16ヶ月の間、2人とも貯金していれば、 $400 \times 16 = 6400$ 円
差になる
弟が3ヶ月貯金していないので、差は $300 \times 3 + 6400 = 7300$ 円になる

A. 7300円

- (3) あと5個買うには、お金が、 $80 \times 5 - 20 = 380$ 円足りない
1個あたり20円の差だから、 $380 \div 20 = 19$ 個買う予定だったので、 $60 \times 19 = 1140$ 円

A. 1140円

- (4) 多く買った1箱買わなければ、残りのお金は、 $900 \times 1 + 700 = 1600$ 円になる
1箱あたり200円の差だから、 $1600 \div 200 = 8$ 箱買う予定だったので、 $1100 \times 8 = 8800$ 円

A. 8800円

- (5) あと3箱買うには、お金が、 $800 \times 3 - 300 = 2100$ 円足りない
1箱あたり300円の差だから、 $2100 \div 300 = 7$ 箱買う予定だったので、 $500 \times 7 = 3500$ 円

A. 3500円

- (6) 多く買った4個買わなければ、残りのお金は、 $90 \times 4 + 80 = 440$ 円になる
1個あたり20円の差だから、 $440 \div 20 = 22$ 個買う予定だったので、 $110 \times 22 = 2420$ 円

A. 2420円

- (7) 計算もあと3日やっていたら、残りの問題は $116 - 2 \times 5 = 96$ 題になる
1日に $7 - 5 = 2$ 題の差なので、 $96 \div 2 = 48$ 日目

A. 48日目

- (8) 値引き後も同じ15個買うと、 $20 \times 15 = 300$ 円残り、その300円であと7個買って20円あまったから、
値引き後は $(300 - 20) \div 7 = 40$ 円、値引き前は $40 + 20 = 60$ 円

A. 60円

- (9) 小のかぼちゃを大と同じ19個買うと、 $20 \times 19 = 380$ 円残り、その380円で
小をあと4個買って20円あまったから、 $(380 - 20) \div 4 = 90$ 円

A. 90円

- (10) 弟が3ヶ月貯金していれば、2人の差は、 $6100 - 700 \times 3 = 4000$ 円になる
1ヶ月あたり200円の差だから、 $4000 \div 200 = 20$ ヶ月目

A. 20ヶ月



←詳しい解説は作者ブログで
QRコードで移動できます

両方とも余り/不足の差集め算 演習プリント

- (1) お菓子を子供たちに配るのに、1人に4個ずつ配ると43個あまり、6個ずつ配っても1個あまりです。お菓子は全部で何個でありますか
- (2) ボールを生徒に配るのに、1人に8個ずつ配ると20個不足し、7個ずつ配っても2個たりません。ボールは全部で何個でありますか
- (3) 目標額を決めて、ある期間毎月一定額を貯金することにしました。毎月1200円ずつの貯金では目標額に10400円届かず、1800円ずつ貯金しても800円たりません。目標額は何円でしたか
- (4) 子供たちにみかんを配るのに、1人に4個ずつ配ると75個あまり、7個ずつ配っても3個あまりです。子供たちの人数とみかんの個数を求めなさい
- (5) 計算の問題集を何日間かで終わらせる計画を立てましたが、1日に8ページずつ解くと48ページが残り、10ページずつ解いても2ページ残ります。何日間で解く計画をたてましたか
- (6) 目標額を決めて、ある期間毎月一定額を貯金することにしました。毎月3000円ずつの貯金では目標額に21000円届かず、4500円ずつ貯金しても1500円たりません。目標額は何円でしたか
- (7) 国語の問題集を何日間かで終わらせる計画を立てましたが、1日に5ページずつ解くと44ページが残り、7ページずつ解いても4ページ残ります。何日間で解く計画をたてましたか
- (8) 生徒から謝恩会の費用を集めるのに、1人から900円ずつ集めると10900円あまり、600円ずつ集めても400円あまりです。生徒は全部何人いますか
- (9) 芸術鑑賞会の費用を生徒から集めるのに、1人から800円ずつ集めると7700円あまり、600円ずつ集めても100円あまりです。生徒は全部何人いますか
- (10) 生徒に画用紙を配るのに、1人に9枚ずつ配ると9枚不足し、8枚ずつ配っても1枚たりません。生徒の人数と画用紙の枚数を求めなさい



両方とも余り/不足の差集め算 解答

- (1) 1人に $6-4=2$ 個差で配ると、全体で $43-1=42$ 個差になる
よって、 $42\div 2=21$ 人の子供がいて、お菓子は $21\times 6+1=127$ 個

A. 127個

- (2) 1人に $8-7=1$ 個差で配ると、全体で $20-2=18$ 個差になる
よって、 $18\div 1=18$ 人の子供がいて、ボールは $18\times 7-2=124$ 個

A. 124個

- (3) 1ヶ月に $1800-1200=600$ 円差で多く貯金すると、全体で $10400-800=9600$ 円の差になる
よって、 $9600\div 600=16$ ヶ月間貯金して、目標は $1800\times 16+800=29600$ 円

A. 29600円

- (4) 1人に $7-4=3$ 個差で配ると、全体で $75-3=72$ 個差になる
よって、 $72\div 3=24$ 人の子供がいて、みかんは $24\times 7+3=171$ 個

A. 子供24人、171個

- (5) 1人に $10-8=2$ ページ差多く解くと、全体で $48-2=46$ ページ差になる
よって、 $46\div 2=23$ 日間で解くことにした

A. 23日

- (6) 1ヶ月に $4500-3000=1500$ 円差で多く貯金すると、全体で $21000-1500=19500$ 円の差になる
よって、 $19500\div 1500=13$ ヶ月間貯金して、目標は $4500\times 13+1500=60000$ 円

A. 60000円

- (7) 1人に $7-5=2$ ページ差多く解くと、全体で $44-4=40$ ページ差になる
よって、 $40\div 2=20$ 日間で解くことにした

A. 20日

- (8) 1人から $900-600=300$ 円差で多く集めると、全体で $10900-400=10500$ 円差になる
よって、 $10500\div 300=35$ 人の生徒がいる

A. 35人

- (9) 1人から $800-600=200$ 円差で多く集めると、全体で $7700-100=7600$ 円差になる
よって、 $7600\div 200=38$ 人の生徒がいる

A. 38人

- (10) 1人に $9-8=1$ 枚差で配ると、全体で $9-1=8$ 枚差になる
よって、 $8\div 1=8$ 人の子供がいて、画用紙は $8\times 9+1=63$ 枚

A. 生徒8人、63枚



←詳しい解説は作者ブログで
QRコードで移動できます

あまりと不足の差集め算 演習プリント

- (1) いすをテーブルの周りに並べていくのに、1つのテーブルにいすを2脚ずつ並べると20脚あまり、6脚ずつ並べるには72脚たりないとき、テーブルは全部で何卓ありますか
- (2) 町内会でおはぎを配るのに、1人に7個ずつ配ると23個不足し、5個ずつ配ると17個あまるとき、町内会の人数とおはぎの個数を求めなさい
- (3) 目標額を決めて、ある期間毎月一定額を貯金することにしました。毎月3000円ずつの貯金では目標額に2000円届かず、4000円ずつ貯金すると8000円目標を超えるとき、目標額は何円ですか
- (4) 子供たちがチョコを食べるのに、1人14個ずつ食べると41個あまり、17個ずつ食べるには7個不足するとき、チョコは全部で何個ありますか
- (5) あめを子供たちに配るのに、1人に6個ずつ配ると25個不足し、3個ずつ配ると41個あまるとき、あめは全部で何個ありますか
- (6) 子供たちがいちごを食べるのに、1人9個ずつ食べると30個あまり、12個ずつ食べるには3個不足するとき、子供たちの人数といちごの個数を求めなさい
- (7) 生徒から合宿の費用を集めるのに、1人から700円ずつ集めると12700円あまり、300円ずつ集めると500円不足するとき、合宿の費用は何円ですか
- (8) 目標額を決めて、ある期間毎月一定額を貯金することにしました。毎月2000円ずつの貯金では目標額に1000円届かず、3000円ずつ貯金すると9000円目標を超えるとき、貯金する期間と目標額を求めなさい
- (9) 町内会で忘年会の費用を集めるのに、1人から1200円ずつ集めると28200円あまり、600円ずつ集めると600円不足するとき、町内会の人数と、忘年会の費用を求めなさい
- (10) 子供たちを決まった数のチームに分けるのに、1チームを2人ずつにすると27人あまり、6人ずつにするには53人たりないとき、チームの数と子供の人数を求めなさい



あまりと不足の差集め算 解答

- (1) テーブルにイスを $6-2=4$ 脚差で並べると、全体で $72+20=92$ 脚差になる
よって、 $92\div 4=23$ 卓のテーブルがある

A. 23卓

- (2) 1人に $7-5=2$ 個差で配ると、全体で $23+17=40$ 個差になる
よって、 $40\div 2=20$ 人いて、おはぎは $7\times 20-23=117$ 個

A. 20人、117個

- (3) 1ヶ月に $4000-3000=1000$ 円差で多く貯金すると、全体で $8000+2000=10000$ 円差
になる
よって、 $10000\div 1000=10$ ヶ月間貯金して、目標は $4000\times 10-8000=32000$ 円

A. 32000円

- (4) 1人が $17-14=3$ 個差で食べると、全体で $7+41=48$ 個差になる
よって、 $48\div 3=16$ 人の子供がいて、チョコは $17\times 16-7=265$ 個

A. 265個

- (5) 1人に $6-3=3$ 個差で配ると、全体で $25+41=66$ 個差になる
よって、 $66\div 3=22$ 人の子供がいて、あめは $6\times 22-25=107$ 個

A. 107個

- (6) 1人が $12-9=3$ 個差で食べると、全体で $3+30=33$ 個差になる
よって、 $33\div 3=11$ 人の子供がいて、いちごは $12\times 11-3=129$ 個

A. 11人、129個

- (7) 1人から $700-300=400$ 円多く集めると、全体で $12700+500=13200$ 円差になる
よって、 $13200\div 400=33$ 人の生徒がいて、合宿の費用は $700\times 33-12700=10400$ 円

A. 10400円

- (8) 1ヶ月に $3000-2000=1000$ 円差で多く貯金すると、全体で $9000+1000=10000$ 円差
になる
よって、 $10000\div 1000=10$ ヶ月間貯金して、目標は $3000\times 10-9000=21000$ 円

A. 10ヶ月、21000円

- (9) 1人から $1200-600=600$ 円多く集めると、全体で $28200+600=28800$ 円差になる
よって、 $28800\div 600=48$ 人の生徒がいて、忘年会の費用は $1200\times 48-28200=29400$
円

A. 48人、29400円

- (10) 1チームあたりの人数を $6-2=4$ 人差にすると、全体で $53+27=80$ 人差になる
よって、 $80\div 4=20$ チームになり、子供的人数は $6\times 20-53=67$ 人

A. 20チーム、67人



←詳しい解説は作者ブログで
QRコードで移動できます

長いすの差集め算 演習プリント

- (1) 生徒を長いすに座らせるのに、1脚に9人ずつ座らせると15人が座れず、7人ずつ座らせても1人が座れません。長いすの数と子供の人数を求めなさい
- (2) 生徒を長いすに座らせるのに、1脚に8人ずつ座らせると15人が座れず、7人ずつ座らせても1人が座れません。長いすの数と子供の人数を求めなさい
- (3) 生徒を長いすに座らせるのに、1脚に4人ずつに座らせると20人が座れず、8人ずつ座らせると8人分の空席ができるとき、長いすの数と子供の人数を求めなさい
- (4) 生徒を長いすに座らせるのに、1脚に8人ずつに座らせると31人が座れず、10人ずつ座らせると19人分の空席ができるとき、長いすの数と子供の人数を求めなさい
- (5) 生徒を長いすに座らせるのに、1脚に3人ずつに座らせると5人が座れず、6人ずつ座らせると61人分の空席ができるとき、長いすの数と子供の人数を求めなさい
- (6) 生徒を長いすに座らせるのに、1脚に10人ずつ座らせると17人が座れず、9人ずつ座らせても3人が座れません。長いすの数と子供の人数を求めなさい
- (7) 生徒を長いすに座らせるのに、1脚に8人ずつに座らせると11人が座れず、12人ずつ座らせると45人分の空席ができるとき、長いすの数と子供の人数を求めなさい
- (8) 生徒を長いすに座らせるのに、1脚に6人ずつ座らせると48人ぶんの空席ができ、8人ずつ座らせても4人分の空席ができます。長いすの数と子供の人数を求めなさい
- (9) 生徒を長いすに座らせるのに、1脚に4人ずつ座らせると25人ぶんの空席ができ、7人ずつ座らせても1人分の空席ができます。長いすの数と子供の人数を求めなさい
- (10) 生徒を長いすに座らせるのに、1脚に5人ずつ座らせると14人ぶんの空席ができ、7人ずつ座らせても2人分の空席ができます。長いすの数と子供の人数を求めなさい



長いすの差集め算 解答

- (1) 1脚あたりの人数を $9-7=2$ 人差にすると、全体で $15-1=14$ 人差になる
よって、 $14\div 2=7$ 脚になり、生徒の人数は $7\times 7-1=48$ 人

A. 7脚、48人

- (2) 1脚あたりの人数を $8-7=1$ 人差にすると、全体で $15-1=14$ 人差になる
よって、 $14\div 1=14$ 脚になり、生徒の人数は $14\times 7-1=97$ 人

A. 14脚、97人

- (3) 1脚あたりの人数を $8-4=4$ 人差にすると、全体で $8+20=28$ 人差になる
よって、 $28\div 4=7$ 脚になり、生徒の人数は $8\times 7-8=48$ 人

A. 7脚、48人

- (4) 1脚あたりの人数を $10-8=2$ 人差にすると、全体で $19+31=50$ 人差になる
よって、 $50\div 2=25$ 脚になり、生徒の人数は $10\times 25-19=231$ 人

A. 25脚、231人

- (5) 1脚あたりの人数を $6-3=3$ 人差にすると、全体で $61+5=66$ 人差になる
よって、 $66\div 3=22$ 脚になり、生徒の人数は $6\times 22-61=71$ 人

A. 22脚、71人

- (6) 1脚あたりの人数を $10-9=1$ 人差にすると、全体で $17-3=14$ 人差になる
よって、 $14\div 1=14$ 脚になり、生徒の人数は $14\times 9-3=123$ 人

A. 14脚、123人

- (7) 1脚あたりの人数を $12-8=4$ 人差にすると、全体で $45+11=56$ 人差になる
よって、 $56\div 4=14$ 脚になり、生徒の人数は $12\times 14-45=123$ 人

A. 14脚、123人

- (8) 1脚あたりの人数を $8-6=2$ 人差にすると、全体で $48-4=44$ 人差になる
よって、 $44\div 2=22$ 脚になり、生徒の人数は $22\times 8+4=180$ 人

A. 22脚、180人

- (9) 1脚あたりの人数を $7-4=3$ 人差にすると、全体で $25-1=24$ 人差になる
よって、 $24\div 3=8$ 脚になり、生徒の人数は $8\times 7+1=57$ 人

A. 8脚、57人

- (10) 1脚あたりの人数を $7-5=2$ 人差にすると、全体で $14-2=12$ 人差になる
よって、 $12\div 2=6$ 脚になり、生徒の人数は $6\times 7+2=44$ 人

A. 6脚、44人



←詳しい解説は作者ブログで
QRコードで移動できます

差集め算の基本問題 演習プリント

- (1) いすをテーブルの周りに並べていくのに、1つのテーブルにいすを2脚ずつ並べると20脚あまり、6脚ずつ並べるには72脚たりないとき、テーブルは全部で何卓ありますか
- (2) 町内会でおはぎを配るのに、1人に7個ずつ配ると23個不足し、5個ずつ配ると17個あまるとき、町内会の人数とおはぎの個数を求めなさい
- (3) アメとガムが同じ数ずつあり、子供たちにアメを1人9個、ガムを1人5個ずつ配ったところ、アメがちょうどなくなり、ガムが88個残っていました。子供たちの人数は何人ですか
- (4) 1個80円のおにぎりを何個か買うつもりで、ちょうどの金額を持って買いにいったところ、1個につき110円に値上がりしていたので、予定と同じ個数を買うには210円たりませんでした。持っていったお金は何円ですか
- (5) 目標額を決めて、ある期間毎月一定額を貯金することにしました。毎月3000円ずつの貯金では目標額に2000円届かず、4000円ずつ貯金すると8000円目標を超えるとき、目標額は何円ですか
- (6) お菓子を子供たちに配るのに、1人に4個ずつ配ると43個あまり、6個ずつ配っても1個あまります。お菓子は全部で何個でありますか
- (7) 1個350円のパンを何個か買うつもりで、ちょうどの金額を持って買いにいったところ、1個につき280円で売っていたので、予定より2個多く買って、ちょうど代金も予定と同じでした。持っていったお金は何円ですか
- (8) 1個340円のケーキを何個か買うのに、ちょうどのお金を持って買いにいくと、1個につき290円に値引きされていたので、予定通りの数を買うと、お金が500円残りました。持っていったお金は何円ですか
- (9) ボールを生徒に配るのに、1人に8個ずつ配ると20個不足し、7個ずつ配っても2個たりません。ボールは全部で何個でありますか
- (10) 兄が毎月700円、弟が毎月300円ずつの貯金を始めましたが、とちゅうで3ヶ月、弟は貯金できないことがありました。貯金を始めて16ヶ月たったとき、2人の貯金額の差は何円になりますか



差集め算の基本問題 解答

- (1) テーブルにイスを $6-2=4$ 脚差で並べると、全体で $72+20=92$ 脚差になる
よって、 $92\div 4=23$ 卓のテーブルがある

A. 23卓

- (2) 1人に $7-5=2$ 個差で配ると、全体で $23+17=40$ 個差になる
よって、 $40\div 2=20$ 人いて、おはぎは $7\times 20-23=117$ 個

A. 20人、117個

- (3) 1人に $9-5=4$ 個ずつの差ができるので、88個の差は、
 $88\div 4=22$ 人ぶんの差

A. 22人

- (4) 1個につき $110-80=30$ 円安くなっているので、210円の差は $210\div 30=7$ 本ぶん
持っていったお金は $110\times 7=770$ 円

A. 770円

- (5) 1ヶ月に $4000-3000=1000$ 円差で多く貯金すると、全体で $8000+2000=10000$ 円差
になる
よって、 $10000\div 1000=10$ ヶ月間貯金して、目標は $4000\times 10-8000=32000$ 円

A. 32000円

- (6) 1人に $6-4=2$ 個差で配ると、全体で $43-1=42$ 個差になる
よって、 $42\div 2=21$ 人の子供がいて、お菓子は $21\times 6+1=127$ 個

A. 127個

- (7) 多く買った2個買わなければ、残りのお金は、 $280\times 2=560$ 円になる
1個あたり70円の差だから、 $560\div 70=8$ 個買う予定だったので、 $350\times 8=2800$ 円

A. 2800円

- (8) 1個につき $340-290=50$ 円安くなっているので、500円の差は $500\div 50=10$ 個ぶん
持っていったお金は $340\times 10=3400$ 円

A. 3400円

- (9) 1人に $8-7=1$ 個差で配ると、全体で $20-2=18$ 個差になる
よって、 $18\div 1=18$ 人の子供がいて、ボールは $18\times 7-2=124$ 個

A. 124個

- (10) 1ヶ月あたり400円の差だから、16ヶ月の間、2人とも貯金していれば、 $400\times 16=6400$ 円
差になる
弟が3ヶ月貯金していないので、差は $300\times 3+6400=7300$ 円になる

A. 7300円



← 詳しい解説は作者ブログで
QRコードで移動できます